



わかるようになるために

校長 富士 健一

「右（みぎ）の意味を教えてください。」

そう問われて、すぐに「左の反対です。」と答えたところ、「左（ひだり）の意味を教えてください。」と問い返されてしまい「右の反対です。」と答えるしかなかった…という、冗談みたいな話。

私たちにとって「上下左右」がどちらの向きを指し示すものなのか、生まれてからの生活経験によって、ある程度イメージ出来ることで「わかっているつもり」の「右」という言葉。けれど、あらためてその言葉の意味を、的確にわかりやすく説明することって本当に難しい。さて、皆さんなら「右」の意味をどう説明しますか？しばしの間考え込んでいた私は「辞書に頼ってみよう。」と思い立ちました。

早速、3年生教室に行き、授業で使っている「例解学習 国語辞典（小学館）」を借りて「右」の意味を調べてみました。すると、【①日の出に向って南側にあたるほう。②たて書きの文で前に書いてある部分。③考え方が保守的なこと。④すぐれているほう。上位のほう。】と書かれていました。思想や立場を示す③④の意味はともかく、向きを指し示す①②の意味は、「なるほど」と思わず唸ってしまうものでした。気になったので、ユニークな語釈が特徴の私愛用「新明解国語辞典 第五版(三省堂)」で調べてみると、【①アナログ時計の文字盤に向った時に、一時から五時までの表示の有る側【明という漢字の「月」が書かれている側と一致】】と書かれていました。さらに調べてみると、「例解国語辞典（三省堂）」では【人の体で、心臓のない側。また、野球で言えば、キャッチャーから見て、一塁側に当たる方角】、「三省堂国語辞典（三省堂）」では【『一』の字では、書き終わりの方。『り』の字では、線の長い方】、「明鏡国語辞典（大修館書店）」では【人体を対称線に沿って二分した時、心臓のない方】、「広辞苑（岩波書店）」では【南を向いた時、西にあたる方】、「岩波国語辞典（岩波書店）」では【この辞書を開いて読む時、偶数のページのある側】と書かれていました。数多くの出版社から出ている様々な国語辞典。私たちが日頃から「わかっているつもり」で何気なく使っている言葉の意味を、どの辞書編纂者も試行錯誤し、独自の表現と特徴的な語釈で的確にわかりやすく説明してくれます。（※「恋愛」の意味も、出版社や辞書の種類・版の違いで語釈が大きく異なり、面白いですよ！）

様々な情報がマスコミやインターネットを通してあふれている今の時代。言葉尻だけを捉えて「わかっているつもり」で生活していると、誤った知識や感覚を気づかないうちに身につけてしまい、トラブルを起こしたり巻き込まれたりすることにもつながります。何より「わかる」ことは暮らしを豊かにしてくれます。だから、「わかっているつもり」から「わかるようになる」ために、気になったことを取り上げて（課題設定）、とことん調べ（情報収集）、比較したり分類したりしながら考えて（整理・分析）、見出したことを知識として残し伝えて（まとめ・表現）いくこと、いわゆる「探究」することが、子供にとっても、大人にとっても、学校での学習場面だけでなく、生活の中で求められていることなのです。

身近な日本の言葉について、気軽に「探究」する手段として、以下の①～④をお薦めしておきます。



- ① 新明解 国語辞典 第五版（三省堂）
- ② 三浦しをん 作「舟を編む」（玄武書房）
- ③ カキユ-タツオ 著「国語辞典の遊び方」（角川文庫）
- ④ 飯間浩明（国語辞典編纂者）ホームページ「言葉のページ」～ことばをめぐるひとりごと

④の QR コード



＜教職員の声＞ 6月は 木崎 成人（きざき しげと）先生のコーナーです。

【私と口名田地区】



まず、私が口名田地区を知ったのは、約50年前の保育園児のときです。中名田の祖父母の家に遊びに行くときに、車で通りました。当時は国道162号線がきれいではなく、学校前の道を通ったことを微かに覚えています。

そして、小学生の時。夏には幼なじみの友達やお家の人、犬と川遊びをしました。秋には父親と毛針であゆ釣りもしました。入れ食いで、小さいながらもたくさん釣れたことを鮮明に覚えています。

中学生。生守に住んでいるので、近くの谷田部に遊びに行くことがよくありました。ミチプラの橋（当時の仲間は荒木橋と呼んでいました）を自転車で渡り、谷田部の道沿いの小屋で卓球部仲間3、4人と卓球をしていました。「今はズルい。」「いやいや、条件は同じだから平等。」「そんなのが入るんか。」と、時間を忘れて楽しみ、お腹が空くとすぐ側のお菓子屋さんで腹を満たしていました。人なつっこいサッカー部の男の子、長距離走が得意な合唱部の朗らかな女の子など、クラスでも口名田の友達と仲良くさせてもらいました。当時の口名田の仲間は、「しげと、おまえがいいといっていたあの曲いいな。」と共感し、相手の考えを大切にしたり、「おまえはそう思うかもしれないけど、ぼくはこう思うよ。」などと自分の考えを持っていたりしました。また、仲間の悪口を聞いたときには「そんなこと言ったらあかんやろ。かわいそうや。」と、仲間を守っていました。やんちゃな人もいましたが、とても仲間思いの人たちばかりでした。そのような仲間にも私もたびたび励まされ、助けられました。



口名田地区には、あたたかい人に育てる土壌があるのだと思います。私もその一役を担っていきたくと思っています。

☆☆

＜わたしのこえ＞ ～5月号返信より～

- ・2年生になってから、かん字がむずかしくなったけど、きれいに書くようにがんばっています。どんどん書くのがたのしくなってきました。
- ・さか上がりができなかった時、「がんばろうかな」と思ってやり続けたらできました。
- ・2年生の時より本をたくさん読むことをがんばりたいです。
- ・分からないことを聞かないことも「はじ」だと思いました。
- ・木崎先生が去年言っていましたが、やることで失敗か成功かどちらか見えてくる。けど、もし何もしなかったら何の成果もない。そういう風にすることが当たり前なのは分かりませんが、ぼくは自分のやることに一生けん命取り組みたいと思います。
- ・4年生の時よりみんなとの協力を深めたいです。みんなやさしくしてくれるので心があたたかくなりました。
- ・私も入学したばかりのころ牛乳が苦手だったので、ゆううつな気持ちや飲めた時の喜びなどはすぐ分かります。
- ・最初のたて割り班の時、みんなをまとめられるか心配だったけれど、私がこまっている時に6年生のみんなが「大丈夫！ぜったいまとめられる」と言ってくれて、こんな素敵な友達がいてよかったと思いました。こんな友達を大切にしたいです。
- ・学校の大変さが分かりました。6年生になったことでいそがしく、つかれます。大変でも、最後の1年間がんばりたいです。



－6月の行事予定－

- 1日(木) PTA登校指導、プール掃除予備日
大黒山登山(3・6年)
すいみん調査(5/26～6/8)
- 2日(金) PTA登校指導、プール掃除予備日
いきいき週間(～6/8)
- 7日(水) 尿検査(2次)、避難訓練、クラブ
- 8日(木) 尿検査(2次)
体カテスト(高学年)
- 9日(金) 読み聞かせ(低学年)
福井大教育学部生訪問 13:30～
授業公開(6限:2・6年)
- 11日(日) PTA前期資源回収
- 14日(水) 特別支援学級合同学習会、委員会
- 15日(木) 学校集金日、SC来校日
- 16日(金) 家庭地域学校協議会 19:00～
- 17日(土) PTA資源回収予備日
- 19日(月) プール開き
- 27日(火)～30日(金) 水泳指導 9:25～
7/3(月) 教育相談週間(～7/7)



※昨日の学校公開、平日にもかかわらず多数の方にご参観いただき、誠にありがとうございました。

↓高学年は必ず書いておうちの方に見せ、提出しましょう。

.....きりとりせん.....

＜わたしのこえ＞ 6月 ※ところがあたたかくなったこと、がんばったこと、やってみたいことなど、ぜひしようかいてね。

ねん なまえ:

＜保護者の声＞

～5月号返信より～



◇保護者の皆様からの返信、ありがとうございます。数多くの素敵なく声>をお聞きし、多くの気づきと元気をいただきました。◇子どもたちの<こえ>や保護者の皆様の<声>は、互いの心を感じ合える魔法の小箱。誰の言葉が分からず、直接会話してはいないけれども、つながり合っている感じがしますよね。◇毎月、心の声を語ったり聞いたりできる場所がたった1枚の紙の中であって、この紙を通して得たちょっとした気づきの積み重ねが、「未来は幸せ」につながっていくといいなと思っています。

【 低学年（1～3年） 】

*いつもご指導頂き、ありがとうございます。

*新しい学年になり、”字をきれいに書く“と自分なりに目標を立てたようで、毎日漢字練習を丁寧に取り組むようになってきました。先生からもらう花丸も励みになっているようです。続けられるように見守りたいと思います。

*「体育の5分走るのが楽しい！」そうです。「5分走るとつらくないの？」と聞いたら、「苦しいけど楽しい！」とのこと…すごいなと思いました。

*3年生になり、新しい科目も増えたので、初めて知ることに興味を持って取り組んでほしいと思います。

*できないことを、何度も何度も練習して、ようやくできるようになり、それが今では大好きなことになった我が子。がんばるってすごいことだなと、我が子に感じさせられました。できないことに負けたくない気持ち、大切ですね。

*何でもできる人からしたら当たり前なことでも、できない人にとってはすごい喜びだと思うので、子どもたちの<こえ>になるほど！と思い、考えさせられました。また、いろいろな子どもたちの<こえ>を紹介してほしいと思います。

【 高学年（4～6年） 】

*「牛乳が飲めるようになった」を読んだ時、自然と笑みがこぼれました。目標は大きくいいですが、小さなことの積み重ね、目の前のことから積み重ねの達成が、いずれ大きな目標の達成につながると感じています。ピンチな時こそチャンス！！と、子供とは話しています。

*本当にその通りだなと感じました。私も「やる気」を意図的に出してがんばっています。子供にもそうできるようになってほしいです。

*低学年の頃と比べると、ご飯の量も前より多く食べるようになり、食べる時間も早くなってうれしいです。つい、他の人と比べてしまいがちですが、人と比べるより、昔の自分と比べることができるといいなと思い、そうしたいです。

.....きりとりせん.....

＜保護者の声＞ 6月 ※感想やご意見、ご要望など、ぜひお書きの上、ご提出ください。（一部紹介させていただきます。）

年 保護者氏名：

*幼少期より「〇〇〇」が嫌いで、「〇〇〇DAY」は大きな不安日だった我が子が、先生から頂けた手紙のおかげで背中を押され、勇気づけられ、自信に変わったようです。その日以降、「〇〇〇DAY」の不安を口にすることはなくなりました。頂いた手紙には、「〇〇〇給食」の日に、「半分も食べられた」「よく頑張った」「相当努力したはずです」etc.…努力を認めて頂けた言葉がたくさん書いてありました。手紙は今も冷蔵庫の真ん中に張ってあり、大きな存在となっております。心より感謝いたします。

*できないからやらないではなく、できなくてもチャレンジする、チャレンジを続けてできるようになるという経験をたくさん重ねて喜びを知り、大きく成長できる1年になるとうれしいです。

*嫌いだったことができるようになると、好きになるなと思います。何事にも挑戦して行ってほしいと思います。

*いつもお世話になりありがとうございます。子供の「やる気」を引き出してあげることはとても難しいと日々感じています。年齢が上がるにつれて「やってみよう」の声かけが「やりなさい」に変わってしまっていて反省することが多いです。まだまだ小さな子どもたちに、何事も前向きに進んでいけるように、一緒にたくさん悩みながら、こちらも負けずに親として成長しなければならないなと強く思います。

*「失敗してもいい」それを最近5年生になってから伝えるようにしています。一歩ずつでいいので我が子のペースで応援しています。きっといいことがあるよ(^▽^)

*チャレンジを応援したりサポートしたりするのが、親や周りの大人の役割だと思いました。

*何ができて何ができないかは人それぞれですね。その子のがんばりをほめてあげたいです。

*いつもありがとうございます。親も「待つ」のが勉強ですね！

*最後の一年間、悔いが残らぬよう一瞬一瞬を大切に過ごしてほしいと願っています。

*小さな背中ではありますが、高学年の雰囲気を感じられるようになりました。毎日楽しく学校へ行っています。

*高学年になり、班長にもなって、4年生の時よりも気合いが入り、責任感が生まれた気がします。

*見守り隊をしていると、学年が1年上がるごとに子どもたちが成長していくのがわかり、素晴らしくうれしく思います。

*入学以来、初めての遠足。お天気も心配ですが、楽しい時間を過ごせるといいな～。

*今年から遠足が始まって良かったです。ふれあい学級などで一緒にご飯を食べたいです。

*今年度はコロナで縮小されたり中止になったりしていた行事等が増えそうで楽しみです。

*コロナウイルスが5類に移行されたので、給食は前向きでなく、お友達同士、顔を見て楽しく食べられたらいいな！と思います。

*タブレットの「ミライシード」ですが、反応が悪く、何度も書き直しをしなくてはいけなくて、すごく時間がかかります。私も子供にさせてもらいましたが、私も何度も書き直しをしました。何かコツがあるのなら、子供たちに教えてもらいたいです。

▶「ミライシード」だけの問題ではなく、クロムブックのタッチパネル性能に起因する反応の悪さだと思われます。したがって、タブレットの入力画面を机上に安定させて作業を行う、あわてずに入力する、タッチペンを使う、などといったことしか対策はないようです。